

# 第1回 2012-2014 FIH 女子ワールドリーグ ラウンド2

日付	2013年2月24日 14:00~15:20		
場所	インド/ニューデリー	天候	晴れ
試合	第5戦	通算結果	日本 3勝2分(SO2勝)

Country	RESULT		Country
日本 JAPAN	Full Time	4 - 0	マレーシア MALAYSIA
	Half Time	1 - 0	

Start	No.	Name	Card
✓	1	大家 涼子(GK)	
✓	2	伴田 久美	
✓	3	坂井 志帆	
✓	4	小野真由美	
✓	5	大田 昭子	
✓	6	岩尾 幸美	
✓	7	中川未由希	
✓	8	駒澤 李佳(C)	
✓	9	三橋 亜記	
✓	10	新井 麻月	
8	11	加藤 彰子	
8	12	西村 綾加	
58	13	田中 泉樹	
21	14	植田 彩	
✓	15	永井 友理	
13	16	深野 加弥	
9	17	錦織 えみ	
	18	吉川 由華(GK)	
監督	柳 承辰		
UMPIRE	LIU XIAOYING(CHN)		

Start	No.	Name	Card
✓	1	YAHYA FARAHAYUNI(GK)	
20	2	HALIM NORHASIKIN	G42分
11	3	ARUMUGAM KANNAGI	G18分
✓	5	MD ALI NOOR HASLIZA	
21	6	IBRAHIM NORIZAIDAH	
✓	7	RUHANI SITI NOOR AMARINA	Y29分
✓	8	MOHAMAD DIN JULIANI	
✓	9	HASHIM NORBANI	
✓	10	SAAD SITI SHAHIDA	
✓	11	SUMANTRI NOR AZLIN	
30	12	MAHD SUKRI FATIN SHAFIKA	
✓	14	ABDUL RAHMAN NADIA(C)	
	16	MD AZIZ MAS HUZAIMAH(GK)	
✓	17	OTHMAN SITI RAHMAH	
✓	19	SYLVESTER SILIN FAZILLA	
12	23	MOHAMED RABIATUL ADAWIYAH	
10	24	MANSOR NURUL NABIHAH	
✓	25	RAJA SHABUDDIN RAJA NOR SHARINA	
監督	ERNAWA TI MAHMUD		
UMPIRE	HUDSON KELLY(NZL)		

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	31	西村 綾加	FG	1-0
JPN	45	三橋 亜記	PC	2-0
JPN	51	加藤 彰子	FG	3-0
JPN	55	植田 彩	FG	4-0

Country	Min	Name	Action	Score

ワールドリーグ ラウンド2 最終戦は、世界ランキング22位マレーシアとの対戦である。なお、この試合は、ラウンド3の出場権がかかっている。  
 (前半)日本のセンターパスにより試合が開始された。前半から積極的に攻撃をしかける日本は、3分ライトサイドから回りこみチャンスを作るが決めることができない。続く6分には、PCを取得するが敵にカットされ先制できず。さらに日本のペースで試合は進み、15分、レフトサイドから加藤が二人をかわしサークルイン。そこからシュートを放つが相手GKに阻まれ、得点することはできなかった。日本は、この辺りから攻撃に変化を加えた。サークルへの打ち込みを少なくし、ドリブルで持ち込む戦法に変え、19分、22分とPCを連続で取得した。ところが、決定力にかけ得点をあげることはできない。23分にもレフトサイドから加藤がドリブルで持ち込み、フリーの中川にパス。このボールを中川がヒットでシュートするが枠を捉えることはできなかった。そして、27分、ライト側23m付近でFHを奪うと、リスタートを早くした駒澤がドリブルで持ち込もうとした時、相手DFに倒されPCを取得。しかし、このチャンスも決めることができなかった。待望の先制点は、31分レフトサイドよりLCのボールを、素早くライトサイドの小野まで展開。ここからセンタリングを入れると、サークル内に走りこんできた西村が、密集地帯から抜けてきたボールを落ちてきてダイレクトで合わせ先制した。さらに34分にもPCを取得するが、ここでも追加点をあげるができずに前半を終了した。  
 (後半)後半も前半同様、相手コートで試合が進む。45分PCを取得すると、バンドから伴田が中へ入ると、三橋がタッチしボールは勢いよくゴールに吸い込まれ2点目を奪った。その6分後の51分には、ライトサイドの攻撃からベースラインにきれいにでたボールを、深野がフリーで回り込み、ゴール左側で待つ加藤がダイレクトで押し込み3点目。続く55分にもレフトサイドから三橋がドリブルで突破し、中央で待つ植田ヘリバースパス。植田がフォアで受けリバースでゴールに押しこみマレーシアを突き放した。その後も終始日本ペースで試合は進みトータル4点を獲得した日本が最終戦を勝利で飾った。

日本はセミアイナルの出場権を獲得し大会を終えた。なお、この試合で、中川未由希選手は、キャップ数200となった。	日本	10	シュート数	0	マレーシア
		7	PC数	0	

記載責任者：女子コーチ 長谷部謙二  
 校閲：女子監督 柳 承辰